

(2026年 北海道公立入試 類似)

- (2023年 島根県公立入試 類似)

- (2025年 沖縄県公立入試 類似)

- (2020年 山形県公立入試 類似)

- (2019年 沖縄県公立入試 類似)

- (2017年 山口県公立入試 類似)

- (2024年 山口県公立入試 類似)

- (2017年 北海道公立入試 類似)

- (2016年 高知県公立入試 類似)

- (2021年 山口県公立入試 類似)

- (2019年 新潟県公立入試 類似)

- (2018年 熊本県公立入試 類似)

- (2021年 大分県公立入試 類似)

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 1 択捉島	択捉島は北方領土の四島の中で最も北に位置し、面積も最大です。日本の主権が及ぶ範囲における最北端の地点はこの択捉島にあります。なお、北海道本島に近い順に、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島と並んでいます。
問2	答え 4 北方領土	択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の四島は「北方領土」と呼ばれます。これらは一度も他国の領土となることがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦末期の1945年8月から9月にかけてソ連（現在のロシア）によって占拠されました。日本政府は、ロシアによるこの支配に法的根拠はないとして、一貫して返還を求めています。
問3	答え 1 図上の距離に、縮尺の分母にあたる数値をかけることで算出する	縮尺とは、実際の距離を地図上に縮小して表した際の比率のことです。例えば「2万5千分の1」の地図は、実際の長さを25,000分の1に縮めて描いているため、逆に地図上の長さを実際の距離に戻すには、縮尺の分母である25,000をかける必要があります。これにより、図上の単位を現実のスケールへと復元することができます。
問4	答え 2 等高線の間隔が密（狭い）な部分は急斜面、疎（広い）な部分は緩斜面として表現する	断面図は、等高線から得られる標高の変化を正確に反映させる必要があります。地形図上で等高線が密集している場所は、短い水平距離で標高が大きく変化することを意味するため、断面図では角度の急な斜面となります。逆に等高線の間隔が広い場所は、標高の変化が緩やかであることを示しているため、断面図ではなだらかな地形として描かれます。
問5	答え 1 オーストラリアは日本と経度の範囲で重なる部分があるが、南半球に位置するため緯度の範囲は重ならない。	緯度は赤道を0度として南北の位（北緯・南緯）を示し、経度はイギリスの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度として東西の位（東経・西経）を示します。日本は北半球・東経の範囲に位置します。オーストラリアは東経の範囲にありますが南半球に位置するため、緯度範囲が重なることはありません。アメリカ合衆国は緯度は重なりますが西経の国であり、ブラジルは南半球かつ西経、イランは東経ですが日本より西側にあり緯度も異なります。
問6	答え 1 さすまた	消防署の地図記号は、かつて消火活動の際に建物を壊して延焼を防ぐために使用された「さすまた」という道具をモチーフにしています。現在でも不審者の押さえ込みなどに使われることがありますが、地形図上では消防の象徴として採用されています。警察署の記号（交差した警棒）など、他の公共施設の由来と区別して覚える必要があります。
問7	答え 1 日本は周囲を海に囲まれた島国であり、四方に広がる多数の島々を起点として200海里の水域が設定されているため	排他的経済水域は、領海と同様に海岸線を基準にして範囲が決まるため、周囲を海に囲まれた島国である日本は広大な水域を確保しやすい特徴があります。特に小笠原諸島や、日本最南端の沖ノ島、最東端の南鳥島といった遠隔地の島々が存在することで、日本の国土面積を大きく上回る面積のEEZが維持されています。これらは日本の漁業資源やエネルギー資源の確保において、非常に重要な役割を果たしています。
問8	答え 1 択捉島	北方領土の中で最も北に位置し、面積も最大である。国後島はその南西に位置し、色丹島と歯舞群島はさらに根室半島に近い場所に位置している。
問9	答え 1 面積は全国の1割にも満たないほど狭いものの、政治や経済の機能が集中しているため、人口が突出して多く密度が極めて高い。	関東地方は関東平野という日本最大の平野を含んでいますが、地方全体の面積としては日本の約9%程度に過ぎません。しかし、東京を中心とする首都圏には、政治・経済・文化の諸機能が高度に集中しており、日本の全人口の約3分の1にあたる約4,300万人以上が居住しています。このように「面積が狭い一方で人口が極端に多い」という状況は、他の地方と比較して突出した人口密度の高さをもたらしています。
問10	答え 4 約300m	地形図において、山頂などに設置された「三角点」の数値は、その地点の正確な標高を示しています。稲佐山の標高332.9mから麓の市街地の標高約30mを引くと302.9mとなるため、標高差は約300mと算出されます。このように、地形図から2地点間の高さを読み取って計算することで、土地の起伏を把握することができます。
問11	答え 3 計曲線が50メートルごと、主曲線が10メートルごと	地形図の縮尺によって等高線の間隔は決まっています。2万5千分の1の地形図では、10メートルごとに主曲線、50メートルごとに計曲線が引かれます。一方、5万分の1の地形図では主曲線が20メートル、計曲線が100メートルごとになります。標高差を算出する際には、まずその地図の縮尺を確認し、等高線の種類に応じた数値を当てはめることが不可欠です。
問12	答え 1 地球は1時間に15度回転するため、日本と世界標準時との間には9時間の時差が生じている。	地球は24時間で360度回転（自転）するため、 $360 \div 24 = 15$ となり、経度が15度変化すると1時間の時差が生じる仕組みになっています。日本の標準時子午線である東経135度を15で割ると「9」となるため、本初子午線があるイギリス（0度）との時差は9時間となります。また、日本は東経に位置するため、イギリスよりも9時間早く朝を迎えます。
問13	答え 4 歴史的な建築物や遺跡など、人類の創造的な活動によって生み出された不動産の遺産である。	文化遺産は、単なる自然の造形ではなく、人間の知恵や技術、信仰などによって作られた「建築物」や「遺跡」といった動かすことのできない財産（不動産）を対象としています。選択肢にある生物多様性に関する説明は「自然遺産」の定義であり、祭礼や伝統工芸などの説明は「無形文化遺産」に該当します。日本の文化遺産には、首里城跡などの琉球王国の遺産群や、白川郷の合掌造り集落などが含まれます。